



高田 健司
水曜会

老人クラブの意義と加入促進策は

問 老人クラブの意義と高齢者の加入促進についての考えは。

答 高齢者の生きがいと健康づくり、地域の安心・安全を支える活動を積極的に推進している老人クラブは、地域の支え合いや助け合いの仕組みづくりを構築するう



連石 武則
水曜会

子ども・子育て新制度の内容と対応は

問 ①新制度における認定子ども園の考え方は。

②公立保育所の法人移管の成果と今後の方向性は。
③放課後児童クラブの実施状況と今後の対応は。

答 ①幼稚園と保育所の両方の

えで極めて重要な存在と考えている。

老人クラブの果たしている役割が広く市民の方々に理解され、地域活動を支えている団体という意識が高まることで、加入率も向上するものと考えて



ており、引き続き魅力ある活動や参加しやすい事業展開が図られるよう、老人クラブ連合会と連携していく。

機能を持つ施設となり、就学前施設の在り方と保護者ニーズを踏まえ、地域の実態に即した認定子ども園となるよう取り組む。

②これまで14所を移管し、老朽化した施設の整備により保育環境の改善とともに定員と対象年齢を拡大した。今後も新制度の施行に伴う子ども・子育て支援事業計画を策定する中で就学前施設の再整備の在り方を検討する。

③本年5月1日現在、小学3年生までの4255人が在籍。今後は原則として国の基準と同様とするが、施設の整備等が必要なため経過措置を検討する。



大田 祐介
水曜会

河口堰の収支と耐震補強工事は

問 ①工業用水道事業全体としては黒字だが、臨海系、河口堰系に分けて収支を分析すると河口堰系は大幅な赤字となるのではないか。収支状況は。

②将来的に堰の耐震補強工事を行う際に、魚道の整備や環境に

配慮したゲートへ改修してはどうか。

答 ①臨海および河口堰の両工業用水道事業は平成17年度末に事業統合したため、臨海系、河口堰系ごとの収支は取りまとめていないが、収支状況は厳しいと考える。②耐震補強工事や大規模な改修工事などが計画された場合には、関係機関等と連携を図り、環境に配慮した施設整備の在り方などについて国に働きかける。



神原 則男
水曜会

ネーミングライツ事業の考え方は

問 ①旧ロッツの新名称が「エフピコRiM」となったが、現在も「リム・ふくやま」が混在する理由は。

②リーデンローズなどの既存施設に対する考え方は。

答 ①商業施設の愛称は市民公

募で「リム・ふくやま」に決定した。その後ネーミングライツの募集で公共施設を含めた建物全体を「エフピコRiM」とし、地下1階から5階を基本とする商業ゾーンを「リム・ふくやま」とした。②呼称の変更で道路標識などの変更が必要となり、その費用は市の負担となる。また、リーデンローズなど愛称が定着しているものが多く、施設の設置目的や立地条件施設の利用状況等を踏まえ、市民間事業者双方にメリットがあると考えられる施設について今後とも検討する。

※臨海系、河口堰系：福山市工業用水道は、中津原浄水場から給水している臨海系と箕島浄水場から給水している河口堰系があったが、2006年（平成18年）3月に臨海・河口堰工水の事業統合を行った。